



2022

南部サイエンスパーク
SOUTHERN TAIWAN SCIENCE PARK

年間報告書

ANNUAL REPORT





目次

PART 1 局長ご挨拶

PART 2 突破 持続的な売上高兆越えのために

- 6 着実な積み重ねが結実し、連続売上高兆越え
- 12 投資のハイライト、産業イノベーション

PART 3 コリドー デジタルイノベーションの拠点

- 15 ハイテクコリドー構築し、産業レジリエンスを強化する
- 17 将来を見据えたプレジジョンヘルスの展開
- 18 イノベーションを実現するための起業、新支局開設
- 20 海外市場への進出、南科を世界へマーケティング

PART 4 コーナーストーン 確かなリソースで基盤をつくる

- 22 交通の最適化、インフラのアップグレード
- 24 共存共栄、ライフクオリティの向上
- 25 人材育成、産業活性化に向けた投資

PART 5 共栄

持続可能な社会への責任を果たすために

- 27 炭素排出量ゼロの職場を目指して
- 30 高水準の環境保全、環境に優しいサイエンスパーク

PART 6 優れた生活環境 下部組織に根付く教育

- 33 様々なイベント、文化継承
- 36 最高の創造性を発揮する

PART 7 飛翔 新たな方向を眺望する

- 39 今後の展望について

PART 8 行事



2022 年、南部サイエンスパークは再度、その力強さと回復力を大いに発揮し、半導体産業のトップランナーとして、売上高 1 兆 4,483.74 億円を達成いたしました。これは前年度比 35.48% の増加です。また、昨年度末より新たな人材を 8,511 人受け入れ、雇用者数は 92,601 人になりました。南台湾の半導体産業クラスターは持続的な成長を遂げ、TSMC の 18 ファブ（5nm および 3nm の最先端製造プロセス）、ドイツ企業メルク、アメリカ企業インテグリス、オランダ企業 ASML、日本企業東京エレクトロ、アメリカ企業 KLA などが積極的に投資を行い、最先端半導体クラスターを形成しております。これらの半導体クラスターを活用し、南台湾のハイテク産業の牽引役として周辺企業経済の活性化にも努めております。

2022 年 1 月、南部サイエンスパーク嘉義 / 屏東園區の計画が行政院の承認を得て推進され、産業用地の確保ならびに南部サイエンスパーク成熟産業クラスター拡大を目指しております。当該計画は台南および高雄を中核地と定め、北は嘉義から南は屏東に至るまでの地域をカバーし、現地産業の付加価値向上を支援すると同時に、クロスドメインのイノベーションを促進することにも努めております。さらには人材の流動化だけではなく、投資誘致に関しても積極的に推し進めております。これにより、南台湾ハイテクコリドーが構築可能となり、地域経済の弾力性を強化することも可能になります。

南部サイエンスパークは持続可能な社会づくりに尽力しております。2022 年には「2022 TCSCA 台湾企業サステナビリティ賞」の政府部門におけるプラチナ賞および「持続可能な社会づくり



のイノベーション成長リーダー賞」の2つの賞を受賞いたしました。また、南部サイエンスパークは再生水を積極的に導入しているサイエンスパークでもあります。例えば、永康、安平、仁徳には、半導体産業再生水施設（TSMC 南科再生水施設）を含む再生水施設がございます。南部サイエンスパークは1日当たり約99,000トン以上の水を供給し、台南園區全体の水使用量の30%を再生水が占めております。

南部サイエンスパークは優れた職場環境および持続可能な社会づくりを追及する一方で、優れた生活環境も重要視しております。2022年には非営利の幼稚園を開設いたしました。また南部サイエンスパークでは100組以上のカップルが同時に結婚式を挙げ、新しい記録を作りました。南部サイエンスパークは性別に対するフレンドシップ、職場における平等を積極的に推進し、労働環境を改善する取り組みにも努めております。さらに、文化・スポーツ・イベントなどの様々な活動も開催し、仕事と生活のバランスを保ち、従業員の身体と心の健康にも配慮しております。

南部サイエンスパークは将来を見据え、継続的に学術研究ならびに最新技術の導入を推進し、研究開発能力の強化、柔軟で多様性に富んだ会社、優れた生活環境を保持し、エネルギーを節約した持続可能な新世代のサイエンスパークを目指していきたいと考えております。さらに、台湾の半導体競争力を強化し、各種の新規ならびに拡大プロジェクトを予定通りに完了させ、2023年のテクノロジービジョンである「イノベーション・包容性・持続可能な社会づくり」および2050年のネットゼロポリシーを段階的に実現していく所存でございます。

局長 蘇振綱
2023.05



PART 2

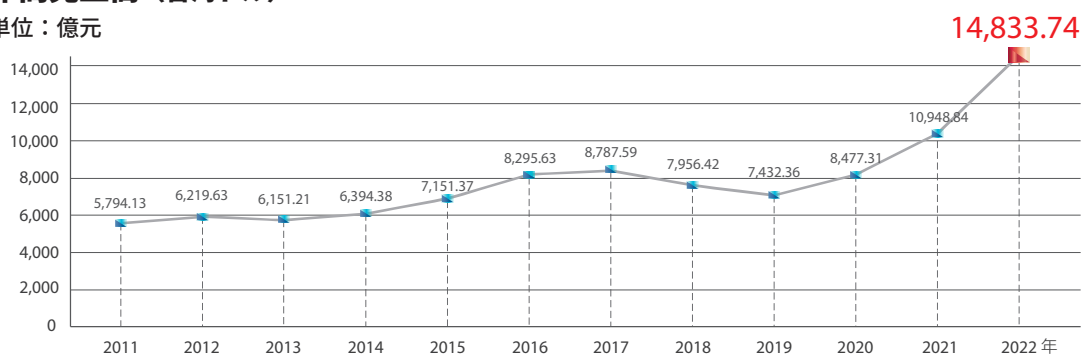
突破 持続的な売上高兆超えのために

着実な積み重ねが結実し、 連続売上高兆超え

2022 年、南部サイエンスパーク（以下、南科）は産業クラスターの引き寄せ効果もあり、数多くの優れた企業が積極的に南科に進出しました。トータル 272 社もの企業が承認され、南部サイエンスパークは活気にみなぎっています。また、2021 年には、連続して総売上高兆を突破する持続的な成長もしております。総売上高は 2021 年度比、35.48% の成長を果たし、累計では台湾元 1 兆 4,833.74 億元を超え、再度、歴史的な記録を達成しました。これらの業績は、世界最先端で最高価値を擁する 5nm プロセスによるものであり、高性能コンピューティング、カーエレクトロニクス、その他の関連アプリケーションの旺盛な需要に支えられ、大幅な売上高の増加、画期的な成果を創造したものです。

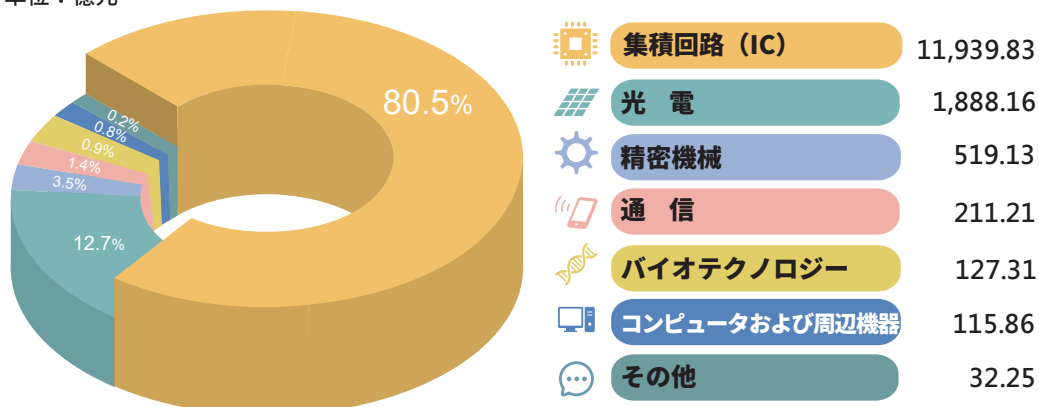
年間売上高（台湾ドル）

単位：億元



各産業の売上高（台湾ドル）

単位：億元



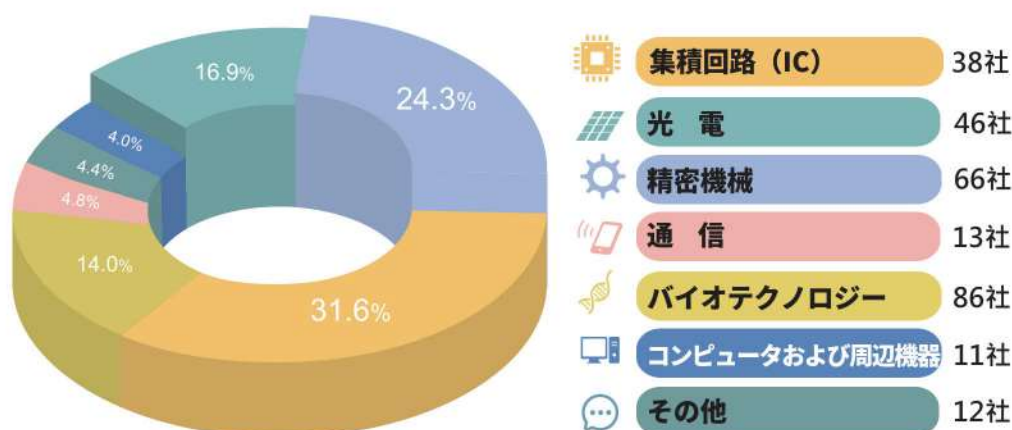
2021年度と比較
した成長率

35.48%

総売上高

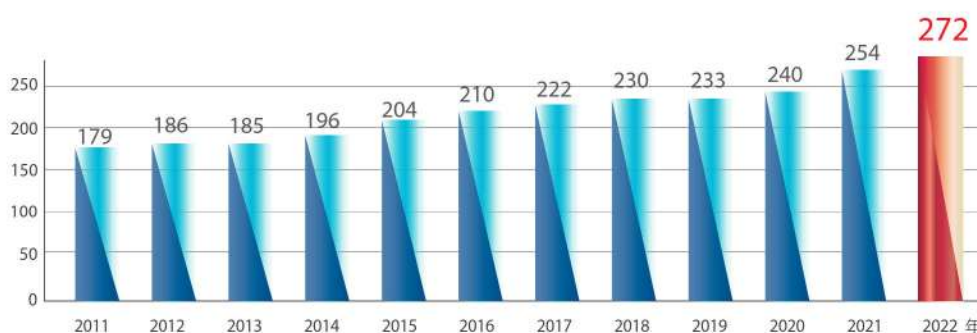
14,833.74 億元(NT\$)

各産業の承認済み企業数（橋頭サイエンスパークを含む）



総計 **272** 社

年度累計の承認済み企業数（社）



歴年輸出入額

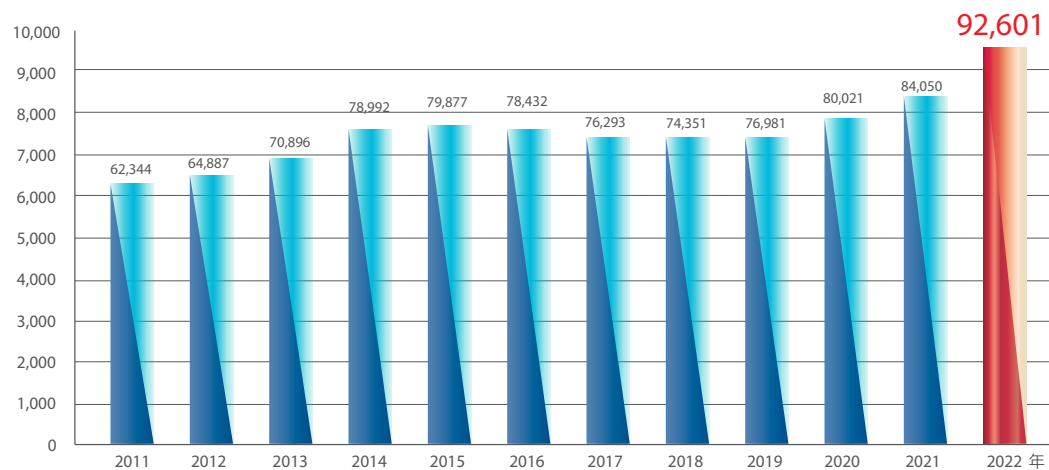
輸出額は高性能コンピューティングおよび自動車用チップ市場の需要により、2022年には5,946.91億元に達し、2021年比13.19%成長しました。そのうち、IC産業の輸出額は3,835.18億元と最高額であり、南科の輸出割合の64.49%を占め、2021年と比較して37.99%成長しました。また、輸入額は7,289.85億元であり、175.75%成長しました。これらは主要大手メーカーが生産拡大し続けた成果が功を奏し、輸入機器が関連需要を牽引したことも起因の一つです。



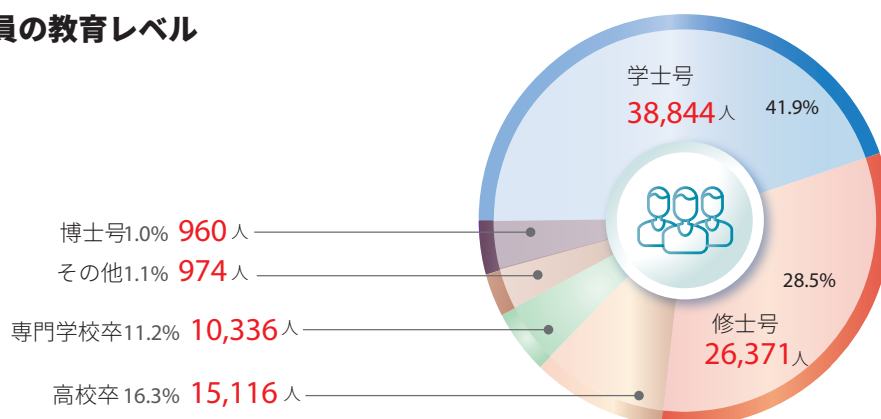
従業員数の推移

単位：人

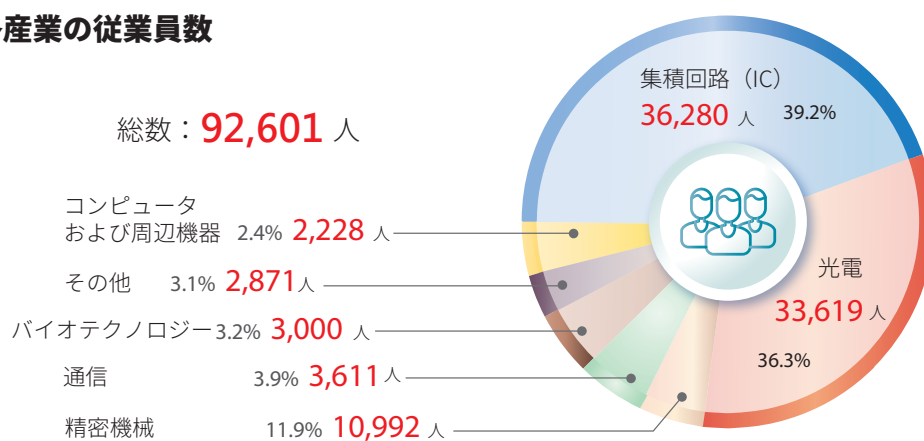
2021年比
8,551 人増加



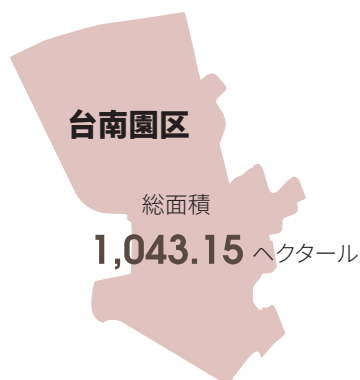
従業員の教育レベル



各産業の従業員数



南科の各園區概況



14,246.44億元
2022年度売上高



529.47 ヘクタール
貸出可能面積



81,714 人
従業員数



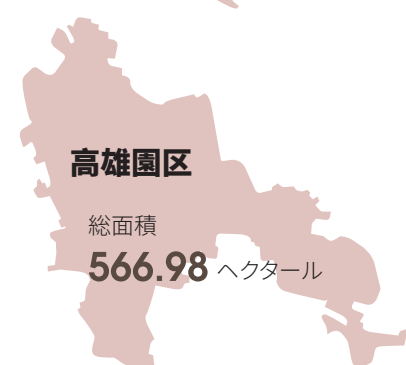
528.12 ヘクタール
すでに貸し出されている面積



144 社
承認済み企業数



99.75 %
借地率



58.73 億元
2022年度売上高



236.90 ヘクタール
貸出可能面積



10,887 人
従業員数



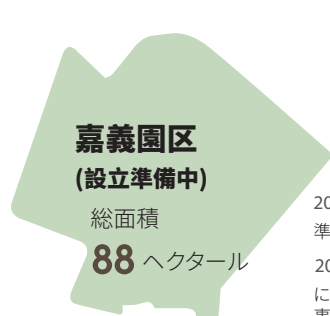
231.64 ヘクタール
すでに貸し出されている面積



115 社
承認済み企業数



97.78 %
借地率



進捗状況

2022.04
準備オフィス開設
2023.05
に公共工事の始動により、
事業者が工場建設のために進駐予定



13 社
承認済み企業数

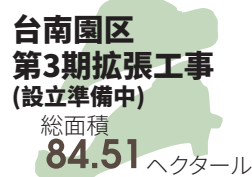
進捗状況

2021.12
地域選定によるビジネス誘致開始
セレモニー
2022.09
「区画土地収用工事安全祈願祭および
着工式」の開催



進捗状況

2022.03
設立準備オフィス開設
2023.05
に公共工事の始動により、
事業者が工場建設のために
進駐予定



進捗状況

2022.08
環境影響審議承認
2023.05
に公共工事の始動により、
事業者が工場建設のために
進駐予定

南科が新たなマイルストーンに向けて進展

国家科学及び技術委員会南部サイエンスパーク管理局の除幕式

科技部の改革に即応し、南部サイエンスパークは2022年7月28日に「国家科学及び技術委員会南部サイエンスパーク管理局（以下、南科管理局）改称式典及び局長就任式」を開催しました。式典では、国家科学及び技術委員会の初代主席である呉政忠氏が開幕の宣言を執り行いました。その際、蘇振綱氏を南科管理局の初代局長に任命し、管理局の印章を授与しました。



呉政忠主席が管理局の印章を授与（2022年7月28日）



国家科学及び技術委員会南科管理局改称除幕式（2022年7月28日）



国家科学及び技術委員会南科管理局改称除幕式の集合写真（2022年7月28日）

屏東園區

「屏東イノベーション・屏東飛翔」

2022年1月、屏東園區の設立計画が行政院の承認を得て推進され、3月26日に「準備オフィスの開設式」ならびに「諮問委員会の設立および産業フォーラム」が開催されました。2023年5月には、公共工事や事業者の同時施工が予定されており、今後はスマート農業・医療、グリーンマテリアル、宇宙技術などの新興科学技術産業を導入し、年間360億元（約1,450億円）の産出と5,400の雇用機会を創出する予定です。



屏東園區準備オフィス開設 (2022年03月26日)



屏東園區計画ビジョン



屏東園區諮問委員会設置 (2022年03月26日)

嘉義園區

「嘉科レディートゥーフライ、テイクオフ」

2022年1月、嘉義園區の設立計画が行政院の承認を得て推進され、4月3日に「準備オフィスの開設式」ならびに「諮問委員会の設立と産業フォーラム」が開催されました。2023年5月には公共工事および事業者の同時施工が予定されており、今後は精度の高い健康管理、スマートトランスポート、スマート農業などの新興科学技術産業を導入し、年間380億元（約1,530億円）の産出と5,700の雇用機会を創出する予定です。



嘉義園區準備オフィス開設 (2022年04月03日)



嘉義園區計画ビジョン



嘉義園區諮問委員会設置 (2022年04月03日)

投資のハイライト・産業イノベーション

2022 年、南科は産業クラスターの発展と数多くの企業の誘致を実現しました。新たに 30 社もの企業を誘致し、総額 558.07 億円の投資が行われました。それらの中でも、それらの中に 10 社は集積回路関連企業で、その投資額は 375.06 億円にも上りました。また、バイオテクノロジー関連企業も 6 社誘致され、投資額は 90.25 億円となりました。これらの成果は非常に注目を浴びたことは言うまでもありません。さらに、増資を実施した企業も 14 社ありました。そのうち 4 社は集積回路関連であり、2364.24 億円の追加投資がなされ、拡張が行われました。これにより南科は、集積回路の最先端製造プロセスにおける重要な基地としての地位を確固たるものにしました。

2022 年台湾の産業クラスターの発展と導入

1 集積回路産業クラスター

南科の集積回路産業クラスターは、優れた人材と企業が順調に集結しています。台湾積体回路製造（TSMC）や聯華電子（UMC）などの大手企業によって牽引されており、上流の設備、材料、およびコンポーネントサプライヤー、下流のパッケージングだけではなくテストなどの供給チェーンもサイエンスパークに進出しています。その中でも、TSMC は台南園區への投資を継続しており、3nm および 5 nm プロセスが量産段階に入っています。また、高雄園區に位置するメモリ大手の華邦電子も 2022 年から量産に着手し、2022 年には采鈺や強茂、華騰、上品、台灣中央硝子、添鴻などの大手企業を誘致し、投資額は 375.06 億円に達しました。

2 光電産業クラスター

南科は国内で最も完璧な TFT-LCD 産業の垂直統合を実現しているクラスターです。上流の重要なコンポーネントであるガラス基板や液晶材料、タッチスクリーン液晶ディスプレイ、バックライトフィルム、プリズムシート、偏光フィルム、マスク、バックライトモジュールから中流のパネル、さらには下流の液晶テレビメーカーまでも網羅しています。2022 年には、レイテック、華宏新技術、大立晶材などの企業が誘致され、投資額は 17.26 億円に達しました。

3 精密機械産業クラスター

南科の精密機械産業は、積体回路および光電大手の拡大投資に伴って設立されました。現在、国内外の装置メーカーが進出し、自動化や検査などの設備を提供しており、ユニークな産業チェーンが形成されています。2022 年には、慧盛や信紘、鈦昇、富騰、方均などの企業を誘致し、投資額は 19.5 億円に達しました。

4 生物技術産業クラスター

南科のバイオテクノロジー産業は、ワクチン、製薬、検査試薬、歯科、整形外科、美容医療などの企業に加え、精密なヘルスケアバイオ産業の展開にも積極的に取り組んでいます。既存の ICT 通信産業および BIO 生物医学産業双方の優位性を基に、医療、電子通信、テクノロジー、バイオ製薬、医療機器などの産業をカバーし、嘉義、台南、高雄、屏東地域における産学研究能力を結集させ、精密な健康産業チェーンの推進を図っています。2022 年には、台康や凱恩、微體、尚村などの企業を誘致し、投資額は 90.25 億円に達しました。

5 コンピュータおよび 周辺機器産業クラスター

南科のコンピュータおよび周辺機器産業は、緯穎、新揚、鵬鼎などの企業がすでに進出しており、AI 人工知能、仮想現実の統合応用、クラウドコンピューティングの目覚ましい発展により、ソフトウェアとハードウェアの統合を行う企業がサイエンスパークに進出しています。2022 年には、智崴、采威、亞達、緯穎智造などの企業を誘致し、投資額は 51 億円に達しました。

6 通信産業クラスター

南科の通信産業には、智邦や華新科、聯亞光、全訊、啟基、宏捷、統新などの企業がすでに進出しています。AI、5G、IoT、エッジコンピューティングなどの新興技術の発展に伴い、関連企業もサイエンスパークに進出しています。2022 年には、巨頻社を誘致し、投資額は 5 億円となりました。

台湾積体電路製造（TSMC） による 3nm プロセスの量産

台湾の半導体メーカーである台湾積体電路製造（TSMC）は、サイエンスパークにある TSMC 18 ファブを拡張し、5nm および 3nm のプロセス技術を主力とする超大型ウェハファブを建設しました。そのうち、3nm のプロセス技術は既に量産体制にあり、TSMC はこの技術を使用し、5 年以内に全世界で約 1.5 兆ドル相当の最終製品価値を創造する予定です。



台湾積体電路製造の 3nm プロセスの量産工場拡張セレモニー（2022 年 12 月 29 日）

メルク社、高雄に新工場を建設

メルク社は、高雄に新工場を建設し、長期的に電子材料供給システムならびに当該サービスに注力していきます。将来的には 5～7 年の間で、台湾に 170 億台湾ドルを投資し、2 段階の計画を立て、生産および研究開発能力を大幅に拡充させていく予定です。新工場は第 1 段階の投資計画であり、生産能力は 3 倍に拡張できることが見込まれています。



メルク社の高雄新工場の始動（2022 年 10 月 26 日）

東京エレクトロンが新工場建設開始

東京エレクトロンは、半導体製造装置のリーディングカンパニーであり、日本最大かつ世界トップ 5 の半導体製造装置メーカーです。新工場は 2024 年下半期に完成予定で、投資額は新台幣 20 億元を超え、約 1,000 の雇用機会を創出する見込みです。



東京エレクトロンの新工場起工式（2022 年 11 月 25 日）

濾能、グリーン建築物の上棟式

濾能株式会社は、AMC 微細汚染制御技術の先進技術を保持しており、新工場建設プロジェクトは 2021 年 3 月に開始され、2023 年上半期に正式稼働する予定です。自家消費型の太陽光発電システムを設置し、工場全体で再生可能エネルギーの 100% 利用を目指し、「グローバルな環境企業」となることを目指しています。



濾能株式会社の新工場上棟式への奉謝と祝賀式（2022 年 4 月 14 日）

新應材社の高雄工場がオープン

新應材社は、" 半導体およびディスプレイ " アプリケーション向けの特種化学材料の研究開発ならびに製造に特化しており、半導体の先進製造プロセスやパッケージングなどに必要かつ重要な化学物質を提供する数少ない材料サプライヤーの一つです。新工場での量産開始後、台湾における半導体産業をさらに強化させ、グローバル市場での競争力を高めることが期待されています。



新應材社の高雄工場での新工場竣工および開業式典（2022 年 4 月 12 日）

鐸友益社、新事業本部を開設

鐸友益社は、自動光学検査（AOI）ならびにスマートオートメーション装置に特化したサービスを提供している企業です。新事業本部が南科高雄サイエンスパークにて竣工後、サイエンスパーク内の企業に隣接した場所で、半導体やオプトエレクトロニクス産業の精密な測定、オートメーションニーズへの対応といったサービスを提供していきます。それらにより、企業のオペレーションならびに研究開発能力拡充が見込まれます。



鐸友益社の新事業本部開設の竣工式（2022 年 10 月 22 日）

生合生技社による持続的な生産能力の向上

生合生技社は、乳酸菌の研究や生産、応用開発に取り組んでいます。2024 年下半期に、新工場の正式稼働を予定しており、生産能力は現行の 5 倍になると見込まれています。さらに、新工場には新たな菌株研究センターが設置され、環境に配慮した省エネルギーが融合し、効率的な生産ラインの構築理念が細部にまで行き届くことになります。これらにより、人類の健康、環境の持続可能な発展に寄与していくことが期待されています。



生合生技社の新工場着工式（2022 年 2 月 27 日）

PART 3

デジタルイノベーションの拠点
コリドー

ハイテクコリドーを構築し、産業レジリエンスを強化する

南科は、半導体、IC デザイン、スマートマシン、バイオ医療機器、ソフトウェアサービスを主軸に据えた計画を展開し、先端プロセスの継続的な研究開発を推進しています。さらに、さまざまな科学的なイノベーション研究や先進的な技術導入を鑑みながら、ソフトウェアおよびハードウェア産業両面の配置を統合し、地域の特色産業とベンチャー技術の結びつきも強化させることで、南台湾のハイテクコリドーを構築しています。

橋頭園區起工式

2022 年 9 月 2 日、「橋頭園區区土地収用工事安全祈願祭および着工式」が開催され、サイエンスパークの公共工事ならびに企業の起工式が同時に実施されることが発表されました。半導体、航空宇宙技術、スマートマシン、プレジジョンヘルス、産業イノベーションなど、5 つの主要な産業誘致が計画されており、年間 1,800 億台湾元の生産額が見込まれています。これらの効果により 11,000 の雇用機会が提供可能だとされています。また、2022 年末までには、新たに 13 社の企業の建設が決まっており、約 186 億元の投資が予定されています。



前行政院院長の蘇貞昌、前内政部長の徐国勇、国家科学委員会主席の吳政忠、高雄州市長の陳其邁、地元の国会議員および各産業界の代表らが一堂に会する橋頭園區起工式での集合写真（2022 年 9 月 2 日）

橋頭園區の完成予想図

ハイテクの起点となる嘉義新拠点，エリートが集い利益を創出する

国家科学及び技術委員会がリーダーシップの役割を果たし、南科は8月12日に嘉義県政府ならびに屏東県政府と共同で「嘉義園區投資誘致および産学交流フォーラム」と「屏東園區投資誘致および産学交流フォーラム」を開催しました。16社の嘉義県ならびに屏東県の園區への進出意向を持つ企業が投資意向書に署名をしました。参加者は、嘉義の伝統技術である「新港板陶窯」の陶板に手形を押し、屏東の六堆客庄の精神を象徴する油紙傘にサインをしました。これらは、科技発展を共同で計画する未来を意味し、グローバルな視野と地域のイノベーションの理念を保持しながら、優れた生活と持続可能なエネルギーを備えた「洗練された多様性、快適でゆとりのある生活、持続的な省エネ」を嘉義県と屏東県のサイエンスパークで築いていくという願いが込められています。

1

2

1. 嘉義園區投資誘致および産学交流フォーラム
(2022年8月12日)
2. 屏東園區投資誘致および産学交流フォーラム
(2022年8月12日)



台南園區は予定通り第三期拡張工事へ

台南園區の第3期拡張工事は、2022年8月に環境影響評価の審議が終了しました。現在、作業を積極的に実施しており、2023年5月には公共工事ならびに企業の同時施工が予定されています。将来的には半導体、スマートマシン、プレジジョンヘルス、産業イノベーションなどの産業を誘致し、約39.2億元の年間生産額を見込み、4,900の雇用機会が提供可能とされています。

台南園區第三期拡張工事完成予想図

未来を見据えたプレジジョンヘルスの展開

シンガーポールとマレーシア間での長期的な運営協力体制に関する覚書

金属工業研究開発センターや徳威グループ、マレーシア KLIDC 国際歯科センター、TAPO 口腔協会が協力体制を確立し、長期的な運営協力に関する覚書に署名しました。これにより、台北医学大学を通じてシンガポール最大の一般歯科グループと連携し、「インプラント統合型海外国際臨床教育デモンストレーションセンター」を設立しました。サイエンスパークの企業はシンガポールおよびマレーシアの医療市場に進出し、医療機器のマーケティングならびに販促活動を行い、販路を開拓するサポートも行われるようになります。



南科・マレーシアクアラルンプール医療機器運営センター：長期に渡る運営協力体制樹立に関する署名式(2022年12月12日)

南台湾生物医学コリドー、適切な健康推進エリアの構築

南科管理局は、10月14日に「スマートヘルスケア」に関する戦略会議を開催しました。当会議では、朴子病院の協力体制のもと、スマートヘルスケアに関するエリア構築が議論され、スマートヘルスケアシステムや製品への導入が計画に盛り込まれました。これにより、嘉義地域における高精度な健康産業への先行投資が実施されることになりました。

南科管理局は、嘉義地域のみならず、屏東科技大学附属獣医病院との協力体制で、スマート動物医療エリアに関する構築も行っています。10月26日に「スマート動物医療」に関する戦略会議が開催され、スマート動物医療システムや製品への導入が計画されました。これらにより、南台湾生物医学コリドーの計画が更に前進することになりました。



「南科スマート医療、シニアにフレンドリーな嘉義」戦略会議(2022年10月14日)



「南科と屏東のアライアンス、動物医療の新未来」戦略会議(2022年10月26日)

スタートアップ企業が半導体 IC チップを活用し、目に見える生活応用への実現

スタートアップ企業である柏瑞医株式会社は 2010 年に南科に進出しました。柏瑞医（株）は、南科 TransMedx アクセラレータを通じて包括的な規制サービスを提供し、AI 骨粗鬆症支援ソフトウェアの ISO 13485 国際認証を取得しました。続いて、TFDA QMS 品質管理システムにも合格し、TFDA 検査登録許可を取得しました。また、ベトナムとシンガポールにおける AI 骨粗鬆症支援ソフトウェア市場への上場も承認されました。さらに、国際的な大手企業である Intel との協力関係も構築でき、DataSense は Intel MRS 認証を取得しました。AI 骨粗鬆症支援スクリーニングシステムは、国内の農村地域の医療レントゲン検診車に導入され、地方の人々に恩恵をもたらしています。



柏瑞医は 2022 年の台湾医療科技展で最新の AI 疾患支援スクリーニングおよび精密医療スマート実験室のソリューションを展示。(2022 年 12 月 1 日)

イノベーションを実現するための起業、新たな局面を迎える

南科 TAIRA、スタートアップ企業の市場拡大支援

南科 TAIRA アクセラレータは 2022 年 1 月 24 日に 4 つのスタートアップ企業チームを率いて、情報セキュリティをテーマにした台日イノベーション交流会に参加しました。このイベントでは、企業との 1 対 1 のマッチングが行われました。また、2022 年 5 月 26 日にはベンチャー企業の盛大なイベントである InnoVEX において、日本市場に展開しているスタートアップ企業チームとみずほ銀行が共同で対話を行いました。この対話では、日本への進出に関する情報やリソースが共有されました。また、下半期には日本の国境制限が段階的に解除されることを見越し、台日間のビジネス交流を以前のように戻すための準備も行われました。



みずほ銀行、南科管理局、TAIRA スタートアップ企業チームの代表らが StarFab テーマ館で写真撮影 (2022 年 5 月 26 日)

南科 TAIRA アクセラレータとみずほ銀行が連携し、スタートアップ企業を日本へ導く

2022 年 11 月 17 日から 19 日、南科 TAIRA アクセラレータとみずほ銀行は共同で 6 つのスタートアップ企業を帯同し、日本市場開拓のために、日本企業などの機関を訪問しました。この訪問では、みずほ銀行東京本店、東京都政策企画局、STATION Ai などの機関を訪問しました。当該日本市場開拓プログラムでは、瑞穂銀行の協力のもと、83 社の日本企業との商談意欲を調査しました。オンライン会議を通じて予めマッチングを実施し、最終的に 13 社の日本企業との実地訪問や 1 対 1 の交渉が実現し、2 つの企業受注を獲得することに成功しました。この訪問のおかげにより、スタートアップ企業の日本市場参入支援へと繋がりました。



南科スタートアップチームが東京都政策企画局を訪問 (2022 年 11 月 17 日 - 2022 年 11 月 19 日)

南科は FITI プログラムに参加し、年間を通して 5 つのチームを指導することにより、賞金 100 万円を獲得

南科創業工場は、国家科学委員会 FITI プログラムのチームを指導するための支援メカニズムを構築し、2022 年の FITI プログラムの起業潜在力賞を受賞した「美格科技」や「炭不可思議」、「強電保鮮」、「Alloytek」、「Linggle」などの 5 つのチームを指導しました。

受賞した「美格科技」は、肺水腫の細胞検査システムを開発し、患者の状態を正確に監視することが実現可能となりました。「炭不可思議」は、バイオチャコールの開発、受託生産、燃焼装置の構築、エンジニアリング技術など、従来の石炭燃焼方法に代わる専門サービスを提供しています。「強電保鮮」は、静電場処理システムを開発し、野菜や果物の鮮度を持続することが可能となります。「Alloytek」は、薄片状の永久合金熱伝導材を開発し、金属液漏れによる電子部品のショート問題の解決を容易にしました。「Linggle」は、包括的な自然言語学習ツールの開発に取り組んでいます。

南科創業工場は、10 年間で 109 のスタートアップチームを指導し、総資本金 37 億円を超える企業を設立し、18 のチームがサイエンスパーク科学事業に成長し、顕著な成果を上げています。



南科創業工場は、国家科学及び技術委員会 FITI プログラムにおいて、5 つのスタートアップチームを指導し、その成果が認められました。(2022 年 6 月 24 日、2022 年 12 月 2 日)

南科 AI_ROBOT 自造基地では、5G AIoT を統合し、イノベーションと企業の連携を図る

これまでの 5G AIoT フィールドテストプロジェクトの成果を踏まえて、「AR メンテナンス・点検技術」と「振動センシング技術」と基地独自の「サイバーセキュリティとリアルタイムモニタリング技術」といったスマート製造の革新的な技術を付加価値として統合し、5G AIoT の包括的なソリューションを構築します。このプロジェクトでは、リモートアフターサービス、パンデミック時の出張リスク、機械の効果的なモニタリングなどの課題解決をサポートします。さらに、5G 技術の応用サービスを拡大し、実際の産業応用に取り入れながら、スタートアップ企業の成長を支援し、産業のアップグレードと転換を促進します。

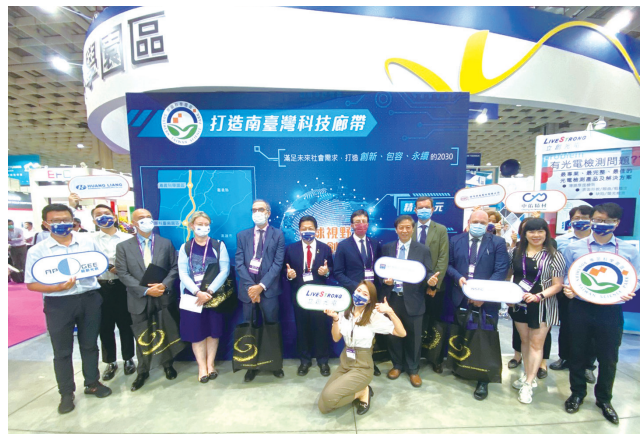
海外市場への進出、南科を世界へ導くマーケティング戦略

「2022 国際半導体展」、輝かしい成果を上げる南科のパートナー

南科は、南台湾の半導体産業を宣伝し、サイエンスパークの企業が国際市場に進出し、新たなビジネスチャンスを確保するために、イメージ館を設立しました。この取り組みには、中佑、立創光電、宇川、台湾阿美特克、皇亮生醫、統新光訊、棕茂、鑫科などの8社の企業が参加し、2022年の国際半導体展で南台湾の半導体産業のエネルギーを世界に披露しました。



南科蘇振綱局長ならびに 2022 国際半導体展に参加した 8 社との写真撮影 (2022 年 9 月 14 日)



2022 国際半導体展で、EU 諸国の台湾代表団が南科イメージ館を訪問 (2022 年 9 月 14 日)

「2022 アジアバイオテクノロジーエキスポ」で、新竹サイエンスパーク、台中サイエンスパーク、南部サイエンスパークの3つのサイエンスパークが連携し展示会を催す

「2022 アジアバイオテクノロジーエキスポ」では、新竹サイエンスパーク、台中サイエンスパーク、南部サイエンスパークの3つのサイエンスパークと国家研究院の計測科学センターが共同で展示を行いました。サイエンスパークのテーマ館では、「遠隔医療、精密健康、産業の成長」などの要素を組み合わせ、各ユニットの研究成果を中心に展示し、優れた製品と研究技術を紹介しました。



「2022 アジアバイオテクノロジーエキスポ」は、新竹サイエンスパーク、台中サイエンスパーク、南部サイエンスパークの3つのサイエンスパークおよび国家研究院の計測科学センターが共同で展示を行いました。(2022 年 7 月 28 日)



2022 年のアジアバイオテクノロジーエキスポにて、サイエンスパークのテーマ館が盛大なイベントを開催しました (2022 年 7 月 28 日)

国際交流、南科から世界へ

2022 年、南科は国内外からの訪問団を 48 組、合計 951 人を受け入れました。訪問団には、アメリカ在台協会所長の Sandra Oudkirk 氏、ドイツ在台協会所長の Jörg Polster 氏、ドイツ議会友台グループ議長の Klaus-Peter Willsch 氏、国家科学及び技術委員会科学技術部門長の葉至誠氏、カナダ国際貿易部科学技術イノベーション部門執行部長の Stéphane Lessard 氏、ホンジュラス共和国大使の Harold Burgos 氏、イスラエル経済貿易事務所所長の Aviv Doron 氏などの貴賓が含まれていました。また、成大半導体学院の交換留学生、成大前医療装置イノベーションセンターのスマート防疫研修プログラム、彰師大 EMBA、NSTC-JST（日本科学技術振興機構）ワークショップなども重要な訪問団でした。



ドイツ議会友台グループなどの貴賓が南科を訪問しました。(2022 年 10 月 5 日)

国際的な経験交流やビジネスサービスの橋渡し

2022 年 9 月 28 日から 30 日にスペインのセビリアで開催された国際サイエンスパーク協会（IASP）の 2022 アニュアルミーティングに参加し、先進国の環境に配慮した経済のイノベーションについて学び、姉妹パークや関連機関との交流を行いました。また、バルセロナのスタートアップ企業育成機関を訪問し、都市、経済、社会面における共同イノベーションについて理解しました。ベンチャー企業育成機関は、知識経済のイノベーションエコシステムを構築し、都市改革のイノベーションモデルとなっています。

10 月 16 日から 21 日にかけて、日本の北九州市のスタートアップ企業の拠点を訪問しました。政府、企業、学術研究機関、地域の力を結集してスタートアップ企業の育成や拠点エリアの整備を推進する取り組みについて学びました。また、北九州市学術研究都市の 20 周年イベントに招待していただき、その際、AI や情報通信技術を活用した産業イノベーションと転換を推進する手法が明らかにされ、南科のスタートアップ企業の発展に大きな助けとなる知見が得られました。



南科管理局は、2022 年にスペインのセビリアで開催された世界サイエンスパーク協会（IASP）の 2022 アニュアルミーティングに出席しました。(2022 年 9 月 28 日 - 2022 年 9 月 30 日)



北九州学術研究都市 20 周年イベントでは、台日両国からの代表 10 名が参加し、円卓会議を行いました。(2022 年 10 月 21 日)

PART 4

確かなリソースで基盤を作る コーナーストーン

交通の最適化・インフラのアップグレード

資源の再利用を重視、再生水循環を推進

チップ製造プロセスにとって、水質、純度、安定した供給源は、極めて重要なものです。水資源を一滴でも、より有効に活用するためには、再生水を新たな水源として開発することが喫緊の課題です。再生水施設の供給により、台南地域の水供給圧力を効率的に緩和するだけでなく、世界の水資源の循環利用においても重要な節目となります。

南科は再生水の導入を優先し、2022年7月に台南市永康再生水プロジェクトを竣工し、12月に供給を開始しました。初期段階では1日に8,000トンの水を供給することが可能になりました。また、南科では初の自社建設による再生水施設である台積電（TSMC）南科再生水施設も9月19日に供水を開始し、1日に5,000トンの工業用再生水を供給しています。将来的には安平や仁徳などの再生水施設も順次稼働し、サイエンスパークの企業が再生水を使用する量は年々増加する予定です。



台積電（TSMC）南科再生水施設の通水式（2022年9月19日）



台積電（TSMC）南科再生水施設



台南市永康水資源回收センター再生水の運営開始式 (2022 年 12 月 30 日)



台南市仁徳再生水施設における新築工事の着工式 (2022 年 11 月 22 日)

台南園區第二期基地西北区北側の連絡道路が完成し、新たな交通選択肢の提供

西北区北側連絡道（RD16-49）は、台南園區西北区の北方向への重要なルートとして 2022 年 8 月 9 日に完成しました。この道路の開通により、北側は台南市南科特定区 10-30M、5-40M、15-25M 計画路に接続され、台積電（TSMC）の 5nm 工場の交通が直接北方向に流れるようになりました。一方、南側は北園三路、北園五路に接続され、台積電（TSMC）の 3nm 工場の北方向の車の流れを緩和し、安順一路から樹谷サイエンスパーク北方向へのアクセスルートである安定インターチェンジまでの交通量を減らすことが可能となりました。これらの道路建設により、サイエンスパーク内の交通に画期的な有用性をもたらしました。



西北区北側連絡道 (RD16-49)



台南園區特定区内 10-30M 計画路開通 (2022 年 11 月 15 日)

共存共栄・ライフクオリティの向上

高雄園區に商業施設がオープンし、仕事も生活も便利に

企業の進出や既存企業の拡大に伴い、高雄園區の従業員数は増加の一途を辿っています。労働者に寄り添った職場環境を構築し、従業員が仕事と生活のバランスを保てるように、公共施設の建設に積極的に取り組んでいます。さらに、2022年10月2日には高雄園區にコンビニエンス・ストアのセブンイレブンと搞豆子咖啡館を設置し、従業員の憩いの場の用途だけではなく、ビジネスミーティングスポットとして利用できるようにも整備しました。これらにより、高雄園區はより便利な労働環境が提供されることになりました。



高雄園區ソフトボール場とスケートリンクの休憩所を設置

高雄園區は、より快適なスポーツと安らぎの空間を提供する目的として、2022年8月21日に公2スポーツ公園内のソフトボール場とスケートリンクの日除け施設設置工事を完了させました。この施設は、4つのスケートリンク（合計長さ21.6メートル）および既存のソフトボール場（長さ5メートル）に設置し、設置部分は（23メートルの延長）となりました。



高雄園區公2運動公園スケートリンクに日除け設置(2022年8月21日)



高雄園區公2運動公園ソフトボール場に日除け設置(2022年8月21日)

人材育成・産業活性化に向けた投資

南科は、従業員の専門的な技術に関する知識や管理能力を向上させることを目標として、人材の蓄積および産学連携を促進し、革新的なマネジメント思考ならびに研究開発能力を引き出すことを目指しています。南科は、集積回路、光電子、精密機械、情報通信、科学管理などの研修を積極的に実施しています。さらに、炭素排出量ゼロ、サイバーセキュリティ、メタユニバースなどの国際的な知識領域に関する多様な専門コースや産学人材交流イベントも開催しています。

産業界、学术界が協力し共に成長する

産業と学術研究の共学を促進し、サイエンスパークの産業人材に関する需要と供給を的確にマッチングさせるために、南科は積極的な取り組みを行っています。大学間の枠組みを超えて、異なる大学間での交流を促進するために、南科は積極的に行動しています。2022年には、総合型イベントを3度開催し、また大規模な人材と技術のマッチングイベントを2度開催しました。これらのイベントでは、国立成功大学、国立中山大学、国立嘉義大学、国立高雄大学などの17校の学生約793人が参加しました。これらのイベントにより、産学間の交流や人材マッチングが促進されました。

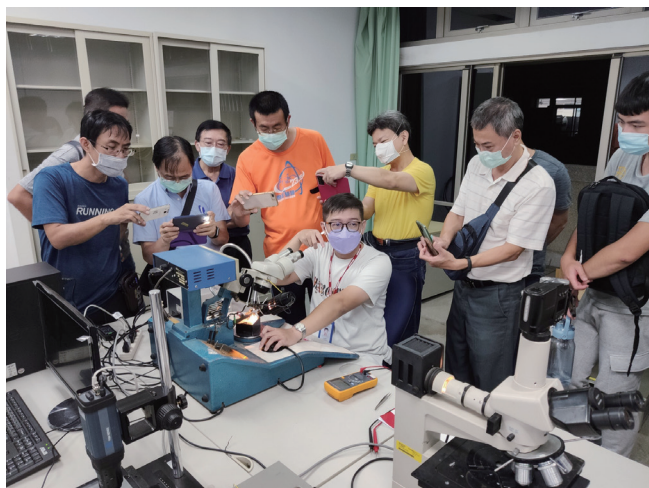


1

2

3

1. 「大学間の垣根を超越×理学院研究成果発表会兼南部サイエンスパーク人材交流会」(2022年11月3日))
- 2、3 「2022 南科精密医療企業に所属する先輩たちに質問」(2022年7月28日)



IoTモノのインターネットセンサーの部品作成実習コース - 講師によるデモンストレーション(2022年8月24日-2022年8月25日)

各種専攻授業開設

従業員の技術と知能の向上

2022年、南部サイエンスパークは法人産業に関する専門家を60%以上採用しました。さらに、21の企業や法人からなる組織との連携も図りました。オープンクラス22コース、企業カスタムクラス21コース、半導体およびスマート製造関連モジュールクラス2コースの合計330時間からなるトレーニングを提供し、総計1,116人が受講しました。これらにより、南部サイエンスパーク内における企業の人材技術力が持続的に向上しました。

科技人材の育成、学業とのギャップを埋める

「サイエンスパーク人材育成支援プログラム」を実施し、国立高雄科技大学を含む 10 校の大学に補助金を提供しました。計 749 人の学生が育成プログラムを受講し、69 人が企業でのインターンシップに参加しました。また、18 社のサイエンスパーク企業が協力しました。プロジェクトのリソースを活用し、33 人の学生が就職を決めました。このプロジェクトに参加した学生の就職率は 47.83%に達しました。



立創光電高科支店でのインターン (2022 年 1 月 12 日)

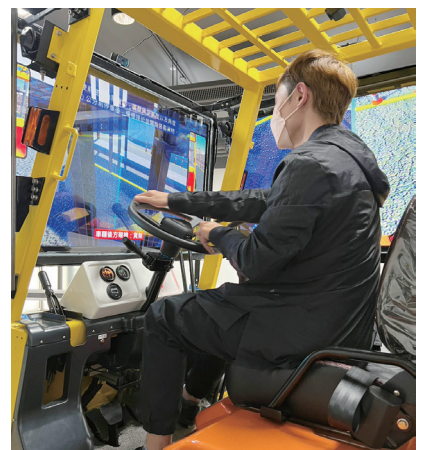


義守大学の学生らが杰鑫國際物流株式会社を訪問 (2022 年 11 月 8 日)

スマートな防災を実現する新技術・職場安全意識の再強化

労働部職業安全衛生署と南科管理局は相互に協力し、高雄から排出された廃棄物仮置場をリニューアルしました。また、関連するソフトウェアおよびハードウェア設備を 3 年かけて整備し、職業安全衛生のための多感覚拡張現実 (XR) 防災シミュレーショントレーニング施設を作り上げました。高度なテクノロジーを駆使したこの施設では、さまざまな高リスク作業をシミュレートすることが可能になります。没入型デジタル環境およびバーチャル・リアリティを使用したトレーニングにより、従来の伝統的な教育トレーニングの枠組みを超えることができます。

2022 年には、XR 施設で 77 回の教育トレーニングが実施され、合計 1,583 人が受講しました。また、嘉南薬理大学などの大学や公的機関団体なども 22 回訪れ、合計 659 人が参加しました。今後も産官学の連携や省庁間の協力を基に、安全衛生の持続可能な新世代スマートキャンパスを構築していく予定です。



4

5

6

4. 一般労働者の吊り籠作業教育トレーニング (ロボットアームとの組み合わせ)

5.XR Center 職業安全防災模擬訓練センター - 入口

6. 一般労働者のためのフォークリフト作業教育トレーニング (シミュレーターを搭載)

PART 5

共栄
果たすために
持続可能な社会への責任を

炭素排出量ゼロの職場を目指して

子育てに優しい職場環境を目指して

2022 年、30 の企業が快適な職場環境を作り出すために、従業員の幼児の保育施設に関する施策や授乳室を提供する取り組みを行いました。30 社の中には、アルバック南部サイエンスパーク支社、頂正科技会社、鑫科材料科技路科支社、生合生技会社などが含まれています。また、毎年、保育施設に関する施策補助金を計上しており、2022 年には合計 294,000 元が補助され、各企業が就業者に安心して快適な職場と家庭生活を送れるよう支援しています。さらに、台南園區には 2 つの非営利の就業者のための幼稚園が設立されています。その中で、就業者の幼児のための非営利保育園は、8 月 1 日に、聯苑員工子女非営利幼稚園は 10 月 17 日に正式に開園しました。特に、聯苑非営利幼稚園は全国初の公私による共同運営の幼稚園であり、サイエンスパークの従業員に優れた品質で手頃な価格の保育サービスを提供しています。



1

3

2

4

1. 就業者の幼児のための非営利保育園オープニングテープカットセレモニー (2022.08.17)
2. 聯苑の就業者の幼児のための非営利保育園オープニングテープカットセレモニーでのパフォーマンス (2022.12.01)
3. 園児による創作活動
4. 聯苑の就業者の幼児のための非営利保育園オープニングテープカットセレモニー (2022.12.01)

2022 年に TCSA（台湾企業持続可能性（サステナビリティ）に関わる賞）の二つの賞を受賞

「生産、生活、生態、生命」などの4つの生命価値をサイエンスパークの核とした理念を掲げ、2022年に南科持続可能性報告書（サステナビリティレポート）を発行しました。この報告書はESG（環境、社会、ガバナンス）の3つの要素を組み合わせ、南科が持続可能なグリーンエリアとなるための取り組みや実績を公開し、透明性を持って説明しています。

「2022 TCSA 台湾企業持続可能性賞（サステナビリティ賞）」のコンペティションにおいて、最高の栄誉である「持続可能性報告書（サステナビリティレポート）プラチナ賞」および「イノベーション成長リーダー賞」といった賞を受賞し、成果が非常に目覚ましく、内容も充実していることが認められました。



南科は2022年のTCSA（台湾企業持続可能性（サステナビリティ）賞）で、「持続可能性報告書（サステナビリティレポート）プラチナ賞」と「イノベーション成長リーダー賞」を受賞しました。（左から立法院院長の游錫堃氏、南科管理局の蘇振綱局長（2022年11月16日）

労働検査機関から「特優」の評価を受ける

南科は、2022年度に労働省より「労働検査機関に関する業績評価」の特優賞を受賞しました。南科は引き続き、ゼロリスク、ゼロ災害、ゼロ事故を目標とし、企業と協力しながら、理想的な労働安全文化を推進し、安全で快適な職場環境を共同で築いていくことを目指しています。



111年度労働検査機関より特優の評価を受ける

厳格な管理と監査により、特優の評価を受ける

台南園區および高雄園區は、内政部の監督の下で、「直轄市、県（市）および特設主管建築機関による建築物の公共安全検査関連業務」、「建設業および各種免許発行関連業務」、「建築物施工管理業務」において特優の評価を受けました。同時に、免許発行効率を向上させ、サイエンスパークに安全で優れた作業環境を提供し、サイエンスパークの建築物の品質、安全性、環境衛生を向上させるための取り組みを続けています。



111年度の建築物施工管理業務の評価で特優賞を受賞

大気品質の維持を推進、市政府から好評を得る

ディーゼル車による排気ガスを自主的に管理するサポートを提供し、大気品質の維持に共同で取り組みました。その結果、私たちは「台南市ディーゼル車大気品質維持自主管理において、優れた成果を挙げている機関」を受賞し、台南全体が快適化する都市環境ビジョンを段階的に実現しています。



女性科学者の参加を奨励、人材による多様化の発展を促進

南科は高度技術産業に継続的に投資と拡大を行っています。9月20日には「女性技術リーダーのキャリアシェアリング・産学人材交流会」のイベントが開催され、川湖グループならびに直得科技社の人事チームが会場に採用相談ブースを設置し、学生と相互交流などを行いました。そこで、学生たちに将来の職場に必要な専門スキルに関するアドバイスをしました。これらにより、より多くの女性が科学研究分野や科技産業に参加することを奨励し、南科の企業人材の持続的な発展を促進しています。



正修科大の校長である龔瑞璋氏（左から3番目）、南科管理局の副局長である鄭秀絨氏（左から4番目）、KingSlideのジェネラルマネージャーの林淑珍氏（中央）が、「女性科技リーダーによる職業生活のシェア・産学人材交流」イベントに出席（2022年09月20日）



直得科技社の許澄瑛氏（会長特別補佐）が貴重な経験を学生たちに披露しました。（2022年09月20日）

職場の平等を推進し、快適な労働環境を構築するためのサイエンスパークの取り組み

労働者の労働権益を保護し、快適な労働環境を向上させ、労使の調和を促進し、労働争議を減らすために南科は「2021 職場での平等な労働の推進」をテーマに、優れた事業機関の表彰イベントおよび共有会を開催しました。これらにより、企業に労働法を積極的に遵守するよう奨励し、調和のとれた労働環境を構築しました。「2022 年度優れた従業員」は合計68人が選出され、「2022 年度職場での平等な労働の推進」の優れた企業は4社（住華科技、啟基科技、台灣賽諾世、瀚宇彩晶社）が受賞しました。サイエンスパークの従業員への貢献を表彰することを通じ、労働環境の快適性向上を事業機関に奨励し、サイエンスパーク内で調和のとれた労使関係を構築することを目指しました。



2022 年度、職場での平等な労働の推進における優れた企業の表彰（2022 年 07 月 27 日）

高水準の環境保全、環境に優しいサイエンスパーク

持続可能な緑のサイエンスパークを維持、環境の共生と利益を推進

南科は省エネと温室効果ガスの削減を積極的に推進し、省エネの持続可能なサイエンスパークを構築しています。12のサイエンスパーク事業単位を支援し、省エネと節水を促進し、年間電力削減潜在量は20,420万kWh、水削減潜在量は25.4万トンです。また、再生可能エネルギーと太陽光発電の導入を奨励し、サイエンスパーク内の太陽光発電設備の累計容量は63.67MWに達しました。この効果により、50,000トン以上のCO2排出削減に成功し、大安森林公園約130ヘクタールの年間温室効果ガス削減量に相当します。

南科は生産、生活、生態の優れた生産環境を構築するため、サイエンスパークの各生態環境を継続的に改善しています。南科は持続可能な環境を積極的に推進し、2022年に再度、高雄園區は緑建築継続利用マークEEWH-EC（エココミュニティ）の「ダイヤモンドレベル」を取得しました。サイエンスパークの生態環境の品質向上への取り組みが再度評価されました。



南科は継続的に企業の省エネ・節水の支援を行っています (2022年09月20日)



南部サイエンスパーク内には太陽光パネルが設置されており、環境保護の効果を實現しています (2022年09月20日)

資源再生センターの設備更新により、炭素排出量ゼロに向けた取り組み

「南部サイエンスパーク台南園區資源再生センター」は設備の更新を通じて、機能を向上させ、以下の4つの側面で改善を図っています：「原始設計能力の強化」「大気汚染防止効果の向上」「循環経済理念の継続」「専門的な技術イメージの創造」。サイエンスパーク内の多様な事業廃棄物を安全かつクリアな処理（炭素排出量ゼロ）をすることで、過去の優れた環境保護運営効果を維持し、環境、労働安全、品質の3つの管理システムの実施により、環境、労働安全、品質を重視する組織管理文化を構築し、サイエンスパークの企業に持続的なサービスを提供しています。



資源再生センター



空気汚染防止装置の更新：バグフィルター (2022年09月26日)



煙道の銅板および耐火材料の更新 (2022年10月12日)



フイリソシンカ



ジャカランダ



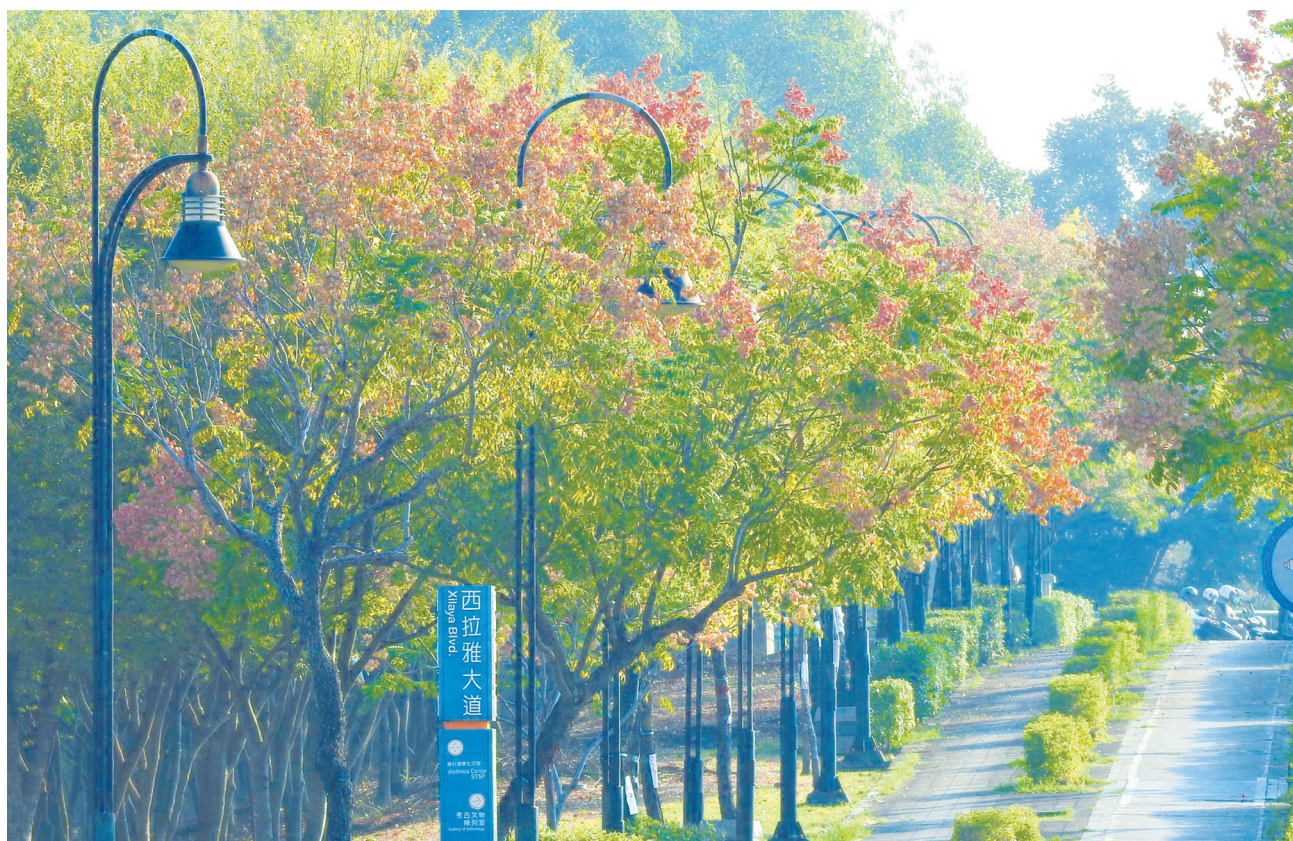
ナンバンサイカチ

四季が移り変わり、満開の花々

南科サイエンスパークの春は、ピンクのフイリソシンカ、淡い紫のジャカランダ、鮮やかな黄色のコガネノウゼンなどの植物が、季節に応じて順次開花し、広大なサイエンスパークで春の賛美歌を奏でます。

5月の初夏には、ジャカランダのロマンチックな詩情、ナンバンサイカチの黄金色の群れ、ハウオウボクの勢いある開花が、夏の協奏曲を奏でます。

中秋の名月以降は、台湾モクゲンジの金色の花が風に乘って舞い散り、点々と金色の光を放ちながら、秋の音を奏でます。南科には四季折々の素晴らしさがあります。



台湾モクゲンジ

環境保護とヒガシメンフクロウの生態保護

南部サイエンスパーク台南園區には6つの貯水池と2つの生態保護公園があり、さまざまな鳥類の生息地となっています。ツバメチドリ、アカモズ、ウライキジ、カタグロトビ、カンムリオオタカ、マシギ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、コウライウグイスなど、保護されている鳥類が含まれています。サイエンスパーク内のさまざまな生息地に、年々、多様な鳥類が生息するようになっています。



ツバメチドリ



ウライキジ



カタグロトビ

台湾の保護種であるヒガシメンフクロウは、橋頭園區に生息しています。このため、南科はヒガシメンフクロウ保護チームを編成し、地域の保護活動と生態緑地の創出に取り組んでいます。中央泥火山公園の13.93ヘクタールの保護地域を確保し、高雄園區では20ヘクタール以上の保護地域を設け、巣作りに適した白茅を4ヘクタール以上植えるなど、ヒガシメンフクロウの生息環境を保護しています。また、高雄市政府と協力体制を築き、周辺の農業従事者に有機農業への転換を支援し、ヒガシメンフクロウの餌場を増やす取り組みも実施しています。



CAMNAME 76°F 24°C 13-04-2022 21:58:09



CAMNAME 66°F 18°C 25-03-2022 02:14:00

猛禽の巣箱と赤外線自動カメラを設置し、ヒガシメンフクロウが夜に活動する様子を捉えました。(2022年03月25日)

復活のハイライト、南科で蛍が舞う

2019年から南科は専門チームと協力し、蛍再生池を作りました。2021年から2022年にかけて、黄緑蛍の幼虫と台湾窓蛍を5,000匹以上を野に放ち、繁殖期には毎日約50～60匹の蛍が確認されています。自然の環境で繁殖させる、初めての試みは、一定の成果が得られています。毎年3月から11月にかけて、台南園區の「公15」の地域で蛍の光が見られます。皆さん是非サイエンスパークを散策し、蛍を觀賞してください。南科と共に、蛍の生息環境を保護し、夜の南科を明るく輝かせましょう。



陸生蛍－台湾窓蛍のクローズアップ

PART 6

下部組織に根付く教育 優れた生活環境

様々なイベント、文化継承

南科ジョイフルライフ、あなたと私。南科で働く人の数は年々増加しており、南科のパートナーに、より理想的な生活を提供するため、南科管理局はさまざまな文化、スポーツ、交流などのイベントを継続的に開催しています。また、就労する人々の結婚、出産、育児などの多様なニーズにも応えるため、親子向けのイベントを開催し、台南園區内の実験中学の教育リソースを強化するなど、科学技術者の生活支援も責務としています。

南部サイエンスパーク創立記念日とスイートウェディング、企業採用とともに新たな未来を創造

1月16日に「サイエンスパーク創立記念兼グループ結婚式」というイベントを開催し、50組のカップルが参加しました。新郎新婦は親しい友人たちからの祝福の中、カップルは手をつないで赤い絨毯を歩き、人生の新たなステージをスタートさせました。同じ場所で、成功大学北米校友会による植樹式も行われ、南科の物語に新たな1ページが追加されました。また、「南科に参加しましょう。あなたがいなければ始まりません。」という企業採用イベントも同時開催され、14社の企業が協力して採用活動を行い、2,000人以上が参加しました。



1	2
3	4

1. サイエンスパーク内の企業が就職イベントを共同して実施 (2022.01.16)
2. 2022 グループ婚、新郎新婦および来賓の方々との集合写真 (2022.01.16)
3. 北米校友会の会植樹式 (2022.01.16)
4. 世界をリードし、南科があなたを導く - サイエンスパーク創立記念イベント (2022.01.16)



心温まるクリスマスのお祝い

12月23日に「2022年クリスマス in 南科」イベントが開催されました。台湾積体回路製造（台積電：TSMC）、聯華電子、メルクグループなど17社の企業が協力し、サイエンスパークの交差点に装飾灯を設置しました。また、南科実験中学小学部の音楽クラブ、聯苑従業員の子供たちが入園している非営利幼稚園の園児たち、ジャズバンドなどが素晴らしいパフォーマンスを披露し、一緒にクリスマスを祝いました。



「南科へ飛翔」と「オーシャンクリスマスイベント」電飾（2022年12月23日）



2022 南科クリスマス会大成功（2022年12月23日）

2022 スポーツ in 南科関連イベント

「2022 スポーツ in 南科」では、さまざまなスポーツイベントが開催されました。その中には、南科カップ五種競技大会があり、内部チームと外部チームの2つの部門に分かれ、合計3,289人の選手と166社の企業が参加し、南科の人々は英気を養いました。また、年間のハイライトの一つである「千人ウォーキング・バドミントン大会」では、南科の人々がイーグルワンヘルスライフセンター周辺で一緒にウォーキングを行い、健康維持を目指しました。当日、バドミントンの女王である戴資穎選手と南科カップバドミントン大会の上位3名の選手を招待し、スポーツと健康の普及に取り組みました。

さらに、10月1日から10月31日までの間に、オンラインのヘルシーウォーキングイベントを開催しました。この期間中、台南園區および高雄園區は、マラソンランナーを招いてのミーティングとナイトランイベントを開催し、人々に継続的な運動を促し、新たな生活をコロナ禍後に展開するよう奨励しました。



「スポーツ in 南科」を開催する。従業員の皆さんに運動習慣の維持を促す（2022年04月23日）



戴資穎選手「南科で運動」五度目のイメージキャラクターを務める（2022年04月23日）



2022 南科カップ ソフトボール、バスケットボール、バレーボール、卓球など様々な協議で大盛り上がり (2022 年 07 月 -2022 年 09 月)

春の芸術祭

南科管理局は毎年3月から4月にかけて、春の訪れと共に週末の音楽と芸術の祭典を開催しています。2022 年の「春の芸術祭」は、「インタラクティブ、楽しい、音楽」をテーマに開催され、南科の従業員の日常生活で発生するストレスを和らげ、南科で働く人々の生活品質を向上させ、就業者同士の様々なコミュニケーション交流活動を促進することを目指しています。また、音楽演奏会は、南科の企業だけではなく、近隣の中学生などの若者たちも参加し、若々しく自信に満ちた活力を見せています。魅力的で多彩な音楽によって、リラックスを求める来場者にゆったりとした午後のひとときを提供しています。



春の芸術祭での様々なパフォーマンス、積極的に参加者を呼びこむ (2022 年 04 月 09 日 -2022 年 04 月 30 日)

ラブマンス、暖かな愛を伝える

「南科ラブマンス」は、2015年に南科管理局、南科ロータリークラブ、台湾ワールド・ビジョンという3つの団体が共同で発起し、南部サイエンスパークの企業を結集して愛の活動を行うイベントです。毎年、サイエンスパークの企業から熱意の籠った対応を受け、累計1,520万台湾ドル以上の寄付金をいただきました。その寄付金は、新市、善化、安定の3つの地域の生活困窮家庭への支援に優先的に活用されています。南科ラブマンスはすでに8回目を迎え、3,465人以上、995世帯の子供たちの生活支援に充てられてきました。



2022 南科ラブマンススタート (2022年10月29日)



南科ラブマンス演出チーム、貴賓、観客との集合写真 (2022年10月29日)

新港社地域に多様な芸術文化を広げよう

新港社地方文化館は、2022年に7つの展覧会を共同で開催しました。展示された作品には、郭金保を始め、呉英賓、許沙棠、葉翰陞などの著名なアーティストの作品が含まれています。特に、パンデミック解除後に初めて開催された四君子連展の開会式は非常に盛況で、約500人の来場者がありました。これは南科の人々の豊かな人文教養を示すものです。



新港社地方文化館四君子連展 (2022年09月03日-2022年10月15日)

最高の創造性を発揮する

国立屏科・嘉科実験中学の予備校が設立、国際化および高品質なキャンパス構築が推進

3月1日に正式に設立された国立屏科・嘉科実験中学（以下実中）の準備校は、113学年度からの入学を予定しています。屏科実中準備校の陳志偉主任および嘉科実中準備校の林怡慧主任の指導のもと、幼稚園、バイリンガル部門、小学部、中学部、高校部など、異なる段階の教育を計画しています。国際化（International）、包括性（Inclusive）、革新性（Innovational）、学際性（Interdisciplinary）、知的（Intelligent）の「5I」をビジョンとし、科学技術者に対して持続的で人間的な美を備えた優れたキャンパスを提供するために全力を尽くしています。



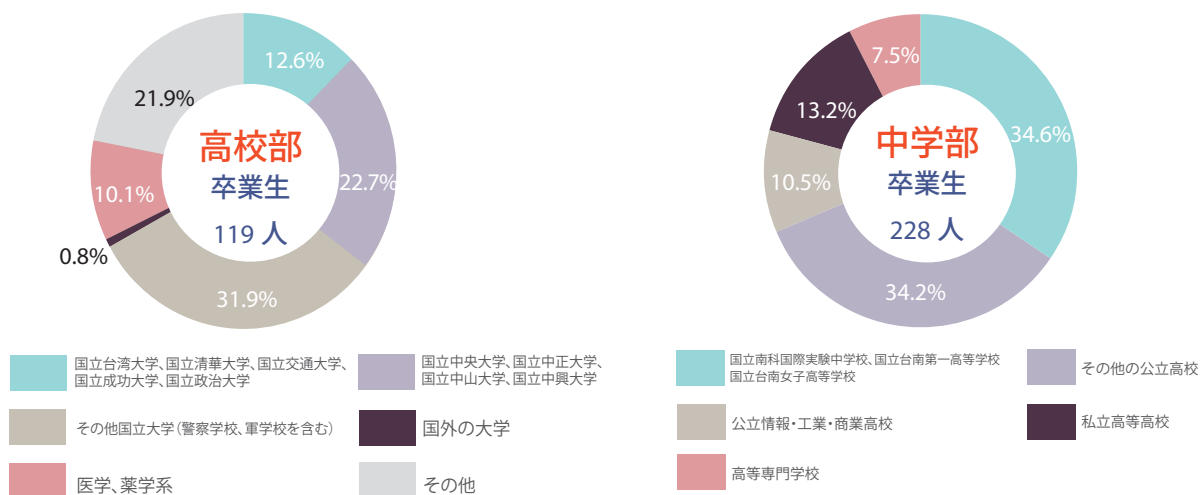
嘉科実験中学が嘉義大学の校舎を訪問し、戦略的な連携を模索しました。(2022年03月10日)



屏科実験中学は、第三回の計画と設計の準備会議を開催しました。(2022年7月20日)

進学先で優秀な成績を収める

2022 年、南科実験中学では 119 人の高校三年生が大学を受験しました。その結果、台湾大学には 6 人が合格しました。台湾清華大学、交通大学、成功大学には合計で 15 人が合格しました（合格率 12.6%）。また、国立大学および医学関連の学科には合計で 93 人が合格を果たしました（合格率 78.2%）。これらの結果は非常に素晴らしいものです。また、中学校の教育会の試験においても優れた成績を収めました。5 科目すべてが優秀な成績（5A++）を取得した生徒は 5 人もおり、5 科目全ての内容を理解（5A）している生徒は 37 人いました。また、総合得点が 26.8 以上の生徒は 54 人おり、各科目において全国平均を上回る内容理解力を達成しました。特に国語と数学では 100 人以上が内容を深く理解しており、英語、社会、自然科学の内容理解力は全国平均の 1.4 倍から 2 倍にもなります。



FRC（FIRST Robotics Competition）で大賞を受賞、台湾総統府に招待、激励を受ける

南科実験中学では、12 年一貫の AI デュアルトラック計画を推進しており、高校部では FRC（FIRST Robotics Competition）、中学部では FTC（FIRST Tech Challenge）、小学部では FLL（FIRST LEGO League）のロボットチームを通じて、生活科技と情報技術のカリキュラムを統合し、手動操作や自律的な行動が可能なロボットを開発しました。これらにより、多くの賞を受賞しました。特に、高校部の FRC6998 チームは、2022 年の世界ロボット大会で最優秀品質賞を獲得し、副総統である賴清徳氏から祝福を受けました。また、小学部の生徒たちは 2022 年の WRO（World Robot Olympiad）雲嘉南 AI スマートロボット校内選抜大会において小学生部門の第 1 位および第 3 位を獲得しました。



1	2
3	

1. 南科実験中学の高校部 FRC6998 チームが、副総統の賴清徳氏から直々に祝福を受けました。(2022 年 04 月 12 日)
2. 南科実験中学の中学部の生徒たちは、2021 年から 2022 年にかけて開催された FIRST Robotics Competition (FRC) の台湾予選に参加しました。(2022 年 01 月 23 日)
3. 南科実験中学の高校部 FRC6998 チームが、世界ロボット大会で最優秀品質賞を受賞しました。(2022 年 04 月 23 日)

国際的なテニス大会で高成績

南科実験中学では同時に優れたスポーツ選手を育成しており、高校部の邱靖璋さんならびに唐郡さんが2022年の夏に「グアム国際ユーステニス選手権大会」で準優勝、「ベトナム国際ユーステニス選手権大会」のダブルスで準優勝、「タイ国際ユーステニス選手権大会」の男子ダブルスで準優勝、「インドネシア国際ユーステニス選手権大会」の男子ダブルスで3位に入りました。両選手は、文武両道を目指し、特にテニス大会では驚異的な成果をあげています。



南科実験中学の唐郡さんは、試合で卓越したテニスキルを披露しました。(2022年07月10日)



南科実験中学の邱靖璋さん（右）は、2022年7月10日に開催されたベトナム国際ユーステニス選手権大会で、パートナーと共にダブルスの準優勝を果たしました。

吹奏楽部・合唱団が四天王に

パンデミックによりオンラインでの練習が余儀なくされたにもかかわらず、南科実験中学の学生たちは団結し、互いに響き合う演奏を披露しました。各部門の指導教師がオンラインでトレーニングを行い、学生たちはその中で忍耐強さと頑強さを示しました。

パンデミックにより開催が延期されていた全国学生音楽コンクールが2022年により開催されました。南科実験中学の高校部や中学部、小学部の吹奏楽部、小学校の合唱団は、コンクールで「特優」の評価を受け「四天王」の栄誉を手に入れました。



- | | | |
|---|--|---|
| 4 | 4. 小学部合唱団が111年度全国学生音楽コンクール合唱部門特有を受賞(2022年03月23日) | |
| 5 | 6 | 5. 小学部吹奏楽部が111年度全国学生音楽コンクール特有を受賞(2022年03月25日) |
| | 7 | 6. 中学部吹奏楽部が111年度全国学生音楽コンクール特有を受賞(2022年03月25日) |
| | | 7. 高校部吹奏楽部が111年度全国学生音楽コンクール特有を受賞(2022年03月25日) |

PART 7

飛翔 新たな方向を眺望する

今後の展望について

将来を見据えた産業、炭素排出量ゼロ持続可能な社会を目指して

持続可能で炭素排出量ゼロの生活を実現する

「南台湾ハイテクコリドー」構築

将来を展望すると、南科は産業の革新的な発展を推進させていくこと、ならびにデジタル化およびスマート化の世界的なトレンドを把握し続けていくことの重要性を認識しています。学術研究技術の積極的な導入を実施し、研究開発能力を強化していきます。さらに、台南園區の ICT 優位性を生かし、台南三期の拡張を目標に掲げます。具体的には、橋頭、嘉義、屏東の新園區の特色産業と結びつけることです。その詳細は、半導体、スマートマシン、スマート輸送、スマート農業、プレジジョンヘルス、スマート農医、グリーンマテリアル、宇宙技術、産業革新など、多様で精緻な産業発展を促進していくことです。これにより、南部サイエンスパークはデジタルトランスフォーメーションの拠点となり得るでしょう。我々は、南台湾の産業デジタル化および緑化の付加価値向上を推進させることで、南台湾ハイテクコリドーを完備し、世界の産業価値チェーンに組み込まれるよう最善を尽くしてまいります。

南科は、優れた就業機会を提供するだけでなく、地方政府と協力し、生活ならびに教育機能を強化し、実験中等学校の設立や完全な機能を備えた住宅・商業複合サービスの開始、地元の芸術文化の融合だけでなく地域の親睦活動の開催など、地域文化と民衆教育の促進にも取り組んでいます。さらに、2050 年までに炭素排出量ゼロおよび持続可能性を目指し、生態復元、多様な水源の拡大、再生水の利用促進、省エネ、エネルギー貯蔵、新たなエネルギー技術の導入を通じ、循環経済を推進するためのグリーンテクノロジーを導入していきます。また、交通、持続可能な社会づくり、ガバナンスなどのスマートサービスを統合し、テクノロジーと環境の持続可能性を兼ね備えた「生活、生産、生態、生命」の4つの要素を統合した新世代のサイエンスパークを作り上げ、国家科学及び技術委員会の2030年の「イノベーション、包括性、持続可能性」のビジョンを具体化します。



PART 8 行事

1月	3日	行政院が「屏東園區設置計画」ならびに「嘉義園區設置計画」を承認
	12日	教育部が「国立屏科実験中学」ならびに「国立嘉科実験中学」の設立に同意
	16日	「2022 南部サイエンスパーク創立記念兼グループ結婚式」を開催
	27日	「橋頭園區が高雄を飛躍へ導く」産業イノベーションフォーラム（第一回目）開催
2月	17日	「橋頭園區が高雄を飛躍へ導く」産業イノベーションフォーラム（第二回目）開催
	18日	アメリカ在台協会局長のサンドラ・オードキルク（Sandra Oudkirk）氏をはじめとする一行が南部サイエンスパークを訪問
	27日	「生合生技社の新工場着工式」に参加
3月	1日	「国立屏科実験中学」ならびに「国立嘉科実験中学」準備委員の設立
	7日	南部サイエンスパーク高雄園區東区緑地移植および景観整備竣工
	26日	「屏東園區準備オフィスの開設式、諮問委員会設立兼産業フォーラム」の開催
	26日	台南市政府などが合同で「すてきな台南生活・台南で仕事探し」就職博覧会を開催
4月	3日	「嘉義園區準備オフィスの開設式、諮問委員会設立兼産業フォーラム」の開設
	9日	2022 スポーツ in 南科 - 南科盃親睦球技大会（バドミントン）
	12日	「新応材社の高雄工場での新工場竣工および開業式典」に参加
	14日	「瀘能株式会社の上棟式」に参加
	23日	2022 スポーツ in 南科 - 千人ウォーキングおよび親善試合開催
5月	17日	ドイツ在台協会所長のヨルグ・ポルスター博士（Dr. Jorg Polster）が南部サイエンスパークを訪問
	19日	高雄園區「緑 22」緑化景観整備の竣工
6月	2日	南部サイエンスパーク TAIRA と日本のみずほ銀行が「台日イノベーション交流会」を協同して設立し、台湾のスタートアップ企業が日本の企業や市場との繋がりを支援
7月	7月-11月	2022 スポーツ in 南科 - 南科盃親睦球技大会（卓球、バレーボール、バスケットボール、ソフトボール）
	16日	「台南市永康区における再生水処理施設、給水タンクおよび給水管網の新規建設プロジェクト」竣工
	23日	高雄市政府労働局と合同で「吉星高照 就職は高雄がいいね」大規模就職イベントを開催
	28日	「国家科学及び技術委員会南部サイエンスパーク管理局改称式典及び局長就任式」
	28日	「2022 アジアバイオテクノロジーエキスポ」に参加
8月	1日	コミュニティセンター従業員子女非営利幼稚園開園
	9日	台南園區第二期基地西北区北側の連絡道路が完成
	12日	「嘉義園區投資誘致および産学交流フォーラム」を開催
	12日	「屏東園區投資誘致および産学交流フォーラム」を開催
	21日	高雄園區ソフトボール場とスケートリンクの休憩所を設置
	24日	「台南園區第三期拡張拡張工事」環境影響審査およびサイエンスパーク環差審議承認
9月	2日	「橋頭園區土地収用工事安全祈願祭および着工式」の開催

10月

8日	111年度建築物施工管理業務評価において「特優」を受賞
13日	2022年度に労働省から「労働検査機関に関する業績評価」の特優賞を受賞
14日	「2022国際半導体展」に参加
19日	「台積電（TSMC）南科再生水施設」通水式
29日	完成した橋頭園區プロジェクトにおいて土地売買に伴う所有権登記
1日-31日	2022スポーツ in 南科-オンライン健康的なウォーキング
5日	ドイツ議会友台グループの貴賓が南部サイエンスパークを訪問
15日	国家科学及び技術委員会（NSTC）が2022年の「キスサイエンス-科学の扉を開き、青春の退屈なし」イベントを開催し、南科 AI_ROBOT 自造基地の見学と体験活動が行われます
17日	聯苑の従業員の子どものための非営利保育園の開園
22日	鍾友益社の新運営本部の開設を祝うオープニングティーパーティーに参加
26日	メルク社の高雄新工場の竣工・開始式典に参加
29日	「2022南科ラブマンス」ピクニックイベント

11月

1日-25日	「2022年労働安全衛生および環境保護月間イベント」を開催
4日	高雄市政府消防局と合同で「誠泰工業社の地震および火災に対する緊急対応訓練」
5日	「第16回南科太陽光モデルカーファミリーチャレンジキャンプ」を開催
14日	「ドイツ MEDICA 2022 国際バイオロジテクノロジー・医療機器産業展」に参加
16日	2022 TCSA 台湾企業持続可能性の競技評価において「持続可能性報告書プラチナ賞」および「イノベーション成長リーダー賞」を受賞
17日	「台南市ディーゼル車大気品質維持自主管理」賞の受賞
21日	高雄園區ヒガシメンフクロウ保護「緑17」と「緑3」で用地における柵の追加設置および植栽の移植・補植作業が完了
25日	「東京エレクトロン台南運営センター」に参加
26日	外交部台湾日本関係協会総領事の陳忠正氏などが南部サイエンスパークを訪問
30日	「台南園區における重要な基礎インフラの緊急事態対応演習」を開催

12月

1日	「2022年台湾医療科技展」に参加
2日	カナダ国際貿易部科学技術イノベーション部門執行部長の Stéphane Lessard 氏らが南部サイエンスパークを訪問
12日	医療機器プロジェクトのマッチングを促進、マレーシア拠点の四者間協力に関する MOU（覚書）に署名
13日	ホンジュラス共和国大使の Harold Burgos 氏らが南部サイエンスパークを訪問
16日	「台南市永康区における再生水処理施設、給水タンクおよび給水管網の新規建設プロジェクト」給水工事
20日	NSTC-JST（日本科学技術振興機構）ワークショップ、AIST（日本産業技術総合研究所）の名誉特別顧問である金山敏彦（Toshihiko Kanayama）氏が南部サイエンスパークを訪問
23日	イスラエル経済貿易事務所所長の Aviv Doron 氏らが南部サイエンスパークを訪問
23日	「2022年クリスマス in 南科」イベントを開催
29日	「台湾積体電路製造の 3nm プロセスの量産および工場拡張セレモニー」に参加
30日	2022年台南園區の道路改善工事が完了
30日	「台南市永康水資源回収センター再生水の運営開始式」開催

發 行 | 国家科学及び技術委員会南部サイエンスパーク管理局

發 行 人 | 蘇振綱

監 修 者 | 鄭秀絨、李信昌、林秀貞、陳郁良、上官天祥、董俊德、官嘉明、張秀敏、李國宏、
韓繡如、郭秀益、林南宏、曾榮傑、蔡明輝、陳志偉、林怡慧

編 集 群 | 王雅嫻、古英山、周怡祺、王明信、賴秧鋸、才有財、蘇靖雅

編 集 責 任 者 | 張家彰、郭筱萱

發 行 所 在 地 | 744094 臺南市新市區南科三路 22 號

電 話 | 06-505-1001

F A X | 06-505-0470

U R L | <https://www.stsp.gov.tw/>

編集及び美術デザイン | 峰德文化事業股份有限公司

所 在 地 | 807080 高雄市三民區鼎和街 7 號

電 話 | 07-3104926

F A X | 07-3104928

政府出版物統一コード番号 | GPN2011100008

出 刊 日 期 | 2023 年 5 月

創 刊 日 期 | 2004 年 4 月





国家科学及び技術委員会南部サイエンスパーク管理局

Southern Taiwan Science Park Bureau, National Science and Technology Council

744-094 台湾台南市新市区南科三路22号 <https://www.stsp.gov.tw/>

Tel : 886-6-505-1001 Fax : 886-6-505-0470